

(参考様式14)

事業所名

本校・内原校・チャイルド校・保育塾

支援プログラム

作成日

2024年

8月

1日

法人（事業所）理念		私たちは「人」一人一人に全力で熱い気持ちで接し、その「人」が未来へはばたけるように寄り添い、その「人」自身とその周りの人々の笑顔を増やしていく経営を行っています。						
支援方針		目指すべきは「人」に優しい、「人」のためになる、「人」の未来を築くこと						
営業時間		10時	0分	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	・視覚を意識した環境整備（絵や写真を使い具体的に表示する等）・定期的な心身の把握（検温・気分の把握など）・心身の健康状態の把握。手洗い、トイレ、着替え、片付け、身支度、見出しなみ等身辺自立の支援。 ・集団活動…散歩、クッキング、掃除等						
	運動・感覚	・トランポリンやマット遊びを通して運動機能向上や感覚育成。感覚に特性のある利用者への配慮。・人間関係の構築のための公園遊具やグループ活動 ・工作遊びでの手指の巧緻性向上						
	認知・行動	・活動の切り替えにタイマーを使用、時計の読み方の学習を通して時間感覚の育成。季節の行事や製作を通して季節の変化への興味を持つように促す。 ・集団活動…旗揚げゲーム、椅子取りゲーム、制作等・季節や環境の変化への興味などの感性形式のための外出や時間の把握と確認による感覚の認知形成 ・一日のタイムスケジュールの明確化 ・グループ活動においての適切な行動形成・認知						
	言語 コミュニケーション	・自分の要求を身振りや絵カード、言葉で相手に伝えられるように手本を見せる、声掛け等の支援を行う。 ・集団活動…読み聞かせ、制作等・個別または集団での読み書きの取り組み						
	人間関係 社会性	・SSTやルールの徹底の理解を促し社会性の向上を諮る ・ルールやマナーを守り、挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができるように支援する。また、同年代の他者と毎週活動することで関心を深め、他者との関わり方を身につける。 ・集団活動…配達ゲーム、しっぽ取りゲーム、買い物ごっこ等・イベントなどを通して各校との交流を深める						
家族支援		保護者会、日々の情報共有・連携・6か月に一から二度保護者と話し合う機会を持つ			移行支援		担当者会議、日々の情報共有・連携 ・保護者や本人の意向を踏まえ就学先、進学に向けての取り組みを明確にする。	
地域支援・地域連携		・関係機関と連携し相談、話し合い、ケース会議を行いよりよい支援につなげていく ・相談支援事業所や他事業所との情報共有・連携、地域イベントへの参加			職員の質の向上		社内研修の充実 二か月に一度ヒアリングし状態を把握する	
主な行事等		お花見、七夕制作、たけのこ堀、ミカン狩り、大根堀、クリスマス会、餅つき大会など多数祝日を介してイベントを催す						